



# 緑の地球新聞

第156号

2022年4月5日発行：公益財団法人 緑の地球防衛基金

## いま名もない砂漠がふえている 私たちは次の世代へ緑の地球を贈ろう

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館203  
☎ 03 (3297) 5505 Fax 03 (3297) 5507  
URL: <https://green-earth-japan.net/>  
e-mail: [defense@green.email.ne.jp](mailto:defense@green.email.ne.jp)  
郵便振替口座 00110-9-161182 定価 ¥150



写真1 (2021年3月)  
樹高の平均が70cmに達した馬尾松の苗木

ベトナムは、南北に約2,000kmの細長い国土を有しており、ベトナム中・南部の気候は熱帯性気候、北部は温帯性(亜熱帯)気候に分類されます。しかし、植林場所のあるシマカイ郡はベトナム最北部の山間地帯で、過去1年間の平均気温は、14℃〜18℃に止まりました。また、

当基金が、2020年4月にベトナム政府との間で覚書を締結し、これまで実施してきた「ベトナム・ラオカイ省環境保護植林事業」は、2020年11月に3万本の植林が終了しています。本件事業に関して、今般ベトナム政府から、2021年の活動報告が送られてきましたので、その内容を紹介します。馬尾松の苗木とカントンアブラギリの種子が、順調に生育している様子などが記されています。

## 着実に成長を続けている馬尾松、 カントンアブラギリ ―ベトナム・ラオカイ省植林事業の2021年活動報告―

### 1. 植林場所の気温と降雨量

平均降雨量は、例年よりもやや少ない400ミリメートルでした。

しかし、植樹した馬尾松(別名タイワンアカマツ)及びカントンアブラギリは原産種であり、こうした気候条件にも適応し順調に成長しています。



写真2 (2021年6月)  
順調に生育する馬尾松の苗木。高さは85cmに達し、枝が発達しています

### 2. 順調に成長している苗木等の状況

①馬尾松(タイワンアカマツ)の苗木

### ②カントンアブラギリの種子

2020年10〜11月に直播された種子は、2021年1月ようやく発芽段階を迎えました。それから約1年が経過し、高さが約30cm〜40cmに達する等、安定して成長しており活力があります。(写真4)

### 3. 2021年の苗木の補植状況

植林後の活着率は90%以上で、植

2020年8〜9月に2万7,000本植栽された馬尾松の苗木は順調に成長しています。樹高の平均は約1m〜1.2mで、1.6m程度に育っている木もあります。(写真1〜3)



写真3 (2022年1月)  
順調に生育する馬尾松の苗木。よく育ち平均樹高は1m〜1.2mです。1.6m程度に育っている木もあります



写真4 (2022年1月)  
順調に生育するカントン・アブラギリの種子。高さは35～45cmに達しています

林の技術設計に示した活着率の水準には達していませんが、損傷した苗木、枯死した苗木に対応して、補植作業を行いました。

捕植した樹種は馬尾松で、補植本数は全部で約3,000本です。1回目の補植は、2021年6月に馬尾松2,000本、2回目の補植は2021年10月に馬尾松1,000本でした。全てナンザン・コミュニティの住民の手で行われました。なお、2021年3月は、降雨量が非常に少なく補植するのに適さなかったため、補植は行いませんでした。

#### 4. 2021年の除草の状況

2021年3月、6月、10月の3回、除草と発根を行いました。苗木の手入れにあたって、侵入植物を駆除し、周囲をきれいにし、発根を促進することで、苗木が光合成と発育

に最適な状態になるよう努めました。

なお、2020年4月に締結した覚書において、2年目は「除草及びまたは (and/or) 施肥を行う」とされていましたが、今般ベトナム側から「森林樹は植え付け前に最初の施肥のみが行われ、それ以降には施肥は行わない」旨の返答がありました。

#### 5. これまでの植林及び育成作業等についてのベトナム側所見

今般の植林地の地形は非常に高く急勾配で、小さな低木が密生しているため、苗木の手入れをする作業者の移動が難しく、苗木が圧迫されるのを防ぐことは困難な状況でした。しかし、ベトナム側からは、森林管理に十分な注意を払い、苗木が着実に成長していることを確認しているとの返答がありました。

なお、ベトナムにおいても新型コロナウイルスが蔓延しています(2022年3月15日現在、感染者637万人余、死者4万1,400人余)。本件の事業実施に当たっても、野外での植栽、手入れの展開、監視、検査の実施に影響がありました。しかし、これらの問題を克服し、現在も計画通りに作業を行うことが出来ているとも返答がありました。

#### 6. 本件事業に対するベトナム側評価

ベトナム政府側は、本件の事業実

施が、①地域の環境、水資源を保護し、温室効果と気候変動を最小限に抑える効果があること、②地元世帯が植林及び保全作業に参加することにより収入の増加、追加の雇用を生み出し、社会経済発展に貢献するこ

### 「地球にやさしいカード」 2022年度の活動予定

「地球にやさしいカード」からの寄付金を原資とする当基金の助成事業(2022年度は14団体に助成)に関して、各助成団体の2022年度の活動予定を紹介します。

この制度は、「地球にやさしいカード」会員によるカードショッピング額の0.5%に相当する金額が、SMB Cファイナンスサービス株式会社から「緑の地球防衛基金」に寄付され、当基金を通じて、国内外で様々な環境保全活動を行うNPOなど各種団体に助成される仕組みです。ちなみに2021年度の助成金実績は1,009万円でした。

#### (地球温暖化を抑えるカード) 認定NPO法人 FoE Japan

FoE Japanは、気候変動関連の情報発信やセミナーの開催、政策提言などに取り組んでいます。気候変動に対する国内の関心はさらに高くなっていますが、政府や企業の気候変動対策は十分ではありません。

となど高く評価しています。しかし、15ヘクタールの植林面積では、必要な環境目標を推進することが困難であるとして、ベトナム政府側から、長期的な協力関係の構築に強い期待が寄せられています。

### 助成団体の

ません。クライメート・ジャスティス(気候正義)の概念を共有することとさらなる気候変動アクションを訴え、パリ協定、1.5℃目標を踏まえた具体的な変化を求めていきます。途上国の市民社会や若い世代とも連携した働きかけを継続します。

#### (熱帯林を守り育てるカード) NPO法人熱帯森林保護団体

2021年7月末までの1年間におけるアマゾンの熱帯林消失面積は、前年比22%増の1万3,235平方km(ブラジル国立宇宙研究所発表。日本の国土の約29分の1の面積)に達し、今までに無いスピードで森が消滅しています。地球の酸素供給源である森の減少は深刻な問題です。

地球温暖化の速度を緩め、乾燥化による自然発火等の火災から熱帯林を保護する一環として、先住民が主体となって行う「消防団事業」は、先駆的且つ緊急な支援です。

**(尾瀬の自然を守るカード)  
NPO法人尾瀬自然保護ネットワーク**

尾瀬はすべてが特別地域であり、特別天然記念物にも指定される生物多様性に富んだ自然公園です。一方、シカの食害や外来種の侵入に加え、観光客誘致のため「森林生態系保護地域コアエリア（保存地区）」の国有森林伐採計画の表面化といった新たな難問も抱えています。

今年度の活動は、特別保護地区内の外来植物、至仏山山稜の笠ヶ岳高山植物や野鳥の調査を行うほか、バス添乗解説や保護活動の後継者育成研修「尾瀬インタープリター養成講座」も行います。

**(立山連峰の自然を守るカード)  
NPO法人立山自然保護ネットワーク**

今年度も引き続き「アースデイとやま」などのイベントで自然保護に関する啓発を行い、活動の裾野が広がるように努めます。県内各地で自然観察会を実施し、37年目のブナ活力度調査や15年目となる呉羽丘陵でのモニタリングサイト1000里地調査も継続します。

外来植物除去作業については、山地帯〜高山帯で種子の散布源となっている地点を中心に、オオバコやスキ、セイヨウタンポポなどを重点的に除去します。

**(白保のサンゴを守るカード)  
特定非営利活動法人 夏花**

夏花（なつばな）は今年度も引き続き、サンゴ礁保全活動として、畑から流れ出る赤土等を食い止めるグリーンベルト植栽活動、白保海域の赤土堆積量調査、サンゴ礁調査、環境学習を中心とした啓発活動を実施します。

特に今年度は次世代の担い手の育成に力を入れ、地元の小中学生だけではなく沖縄本島や関東など島外地域と連携し、サンゴ礁保全活動の現状を広く理解してもらうため、啓発活動の活性化に取り組む予定です。

**(ヒマラヤの自然を守るカード)  
認定NPO法人ヒマラヤ保全協会**

ヒマラヤ保全協会は、ネパールなどの山岳農村部で植林・果樹栽培のアドルフオレストリーを通じた環境保全活動を行っています。

2022年度は、ネパール西部ダウラギリ県での植林活動と、農山村での果樹栽培（キウイ、ブルーベリーなど）、協力農家への指導を継続します。コロナ後を見据えて、林産資源を活用したより換金性の高い活動で地域の自活自営をサポートします。一例に、女性たちによるオーガニック石鹸の開発、養蜂活動、サクラ苗の植栽を中心とした、IHCさくら記念公園の開設も実施します。

**(ウミガメを守るカード)  
NPO法人サンクチュアリエヌビーオー**

遠州灘海岸で、1986年から絶滅危惧種アカウミガメと繁殖地の保護保全活動を継続しています。

種の保護活動として、アカウミガメの繁殖調査、子ガメのふ化調査・放流、環境影響調査を実施するとともに、繁殖地の保全活動として、砂浜回復事業、海浜植物の保護事業、海洋汚染防止のためマイクロプラスチックゼロプロジェクト、海洋ごみゼロプロジェクトを実施しています。

学校など教育機関の体験型環境学習の推進やCSR活動の受け入れにより、次世代の担い手の育成にも力を注いでいます。

**(トンボの保護区を守るカード)  
NPO法人桶ヶ谷沼を考える会**

日本一のトンボ生息地「桶ヶ谷沼」の環境を守る、特に絶滅危惧種ベッコウトンボの種の保全に力を注いでいます。長い年月の活動にも関わらず、2021年度の調査では67頭にとどまり、種の保全の危機状態が続いています。このため昨年から許可を得て採卵・ヤゴの生育ゾーンを設定し、網掛け・餌やりなどを始めました。今年度の調査が楽しみです。今年度は、ベッコウトンボの飼育・保全保護活動を継続実施します。

沼本体からの自然出現を期待して、沼の湿地復元計画を新たに実施します。

**(ゾウを守るカード)  
認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金**

絶滅のおそれがより深刻化しているとして、レッドリストの格付けが上がりつつあったアフリカのゾウ。象牙目的の密猟を防ぐには、ワシントン条約の決議にしたがって各国の象牙市場を閉鎖しなければなりません。ところが、日本の象牙市場はオープンなままです。

今年度は、11月にパナマで開催される条約会議にオブザーバー登録して出席し、日本の現状を報告する予定で、日本の国内象牙市場閉鎖をうながすよう、各国に働きかけます。

**(トンボの保護区を守るカード)  
上総自然学校**

上総自然学校は、房総半島中央部に位置する千葉県袖ヶ浦市で、里山の保全・育成等に取り組んでいます。16年前から、休耕田を田んぼに戻しながら、色々な生物を増やす活動を行っています。新型コロナウイルスの影響で、田植えなどの体験イベントは人数制限をするなどして実施しました。2年前の台風で壊れたフクロウの巣箱を掛けなおしました。新たに休耕田に水を張って湿地を作ったところアカガエルが産卵を始めまし

た。それを狙うフクロウや鷹もやってきました。じわじわエリアを拡大中です。

**(地球温暖化を抑えるカード)  
虹別コロカミイの会**

北海道の各地に生息していた国指定天然記念物のシマフクロウは、開発等により一部の地域にのみ生息し現在165羽程度といわれています。

虹別コロカミイの会は、シマフクロウが生きやすい環境をつくるため、1984年から「シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭」を実施しています。今年5月15日に第29回植樹祭を計画しています。

昨年は、虹別コロカミイの会の設置した巣箱で生まれたシマフクロウが、弟子屈町の屈斜路湖畔で営巣しているのが確認されました。

**(地球温暖化を抑えるカード)  
NPO法人熱帯林行動ネットワーク**

熱帯林行動ネットワークは、過去2年間、インドネシアのボルネオ島東部において、オランウータン保護団体であるCOPと連携して、植樹活動を実施してきました。

今年度は、これまでに植樹した地域において樹木の生存率を高めるためモニタリングや管理・修復作業を行うとともに、COPが運営する保護施設2か所の周辺で、オランウー

タンの食糧となる果樹を中心とした植樹を、周辺コミュニティと共同で実施する予定です。

**(地球温暖化を抑えるカード)  
真庭遺産研究会**

オオサンショウウオは、国の特別天然記念物に指定された世界最大級の両生類です。岡山県真庭市は3万2,823haもの面積で生息地指定を受けている全国屈指の地ですが、個体数の減少は深刻化しています。

真庭遺産研究会は、オオサンショウウオの保護活動として、生息個体群の調査や人工巣穴・遡上路的設置などの川づくりとともに、美しい清流の景色が広がる下和川「長とろ」を活動拠点とした自然体験型環境学習プログラムを実施しています。

**地球温暖化を抑えるカード)  
NPO法人NPOクワガタ探検隊**

NPOクワガタ探検隊は、日本古来からの自然観《共生・畏敬・感謝》に基づき、自然とのふれあい原体験を通して『未来の森の守り人』の育成活動を27年間行ってきました。

具体的な活動として、大阪北摂地区の箕面国定公園を舞台に、「カブト・クワガタの里親飼育放虫活動」や「創作絵本の読み聞かせ活動」を展開するとともに、四季折々の「桜まつり・モミジ祭り」などにも出店し、地域啓発活動を実施しています。

**たくさんの使用済み切手など  
ありがとうございました**

**使用済み切手等売上表**  
(12月16日～3月15日)

未使用テレホンカード	300円
未使用/使用済み切手	278,771円
未使用/書き損じハガキ	14,616円
外国コイン&紙幣	5,782円
合計	299,469円

**使用済み切手等協力者**

(12月16日～3月15日敬称略)

市川浩一、笠間仁保子、加藤めぐみ、神田章吉、キャンベル有可、佐藤和子、下元美奈子、末松大輔、太刀川忠良、中野寿人、原田茂實、廣瀬道孝、深見和代、福田順子、山口慶子、山口元子、山本幸枝、匿名

**同法人・団体協力者**

(12月16日～3月15日敬称略)

(株)葵商店、(社)青森県社会福祉協議会、(株)朝日工業社、あたたかい心、(社)生駒市社会福祉協議会、(社)石川県社会福祉協議会、岩田地崎建設(株)東京支店、宇佐ながすライオンズクラブ、(株)エヌエーシー、大西金属(株)、(株)オーバル、(株)柏市国際交流協会、木島法律事務所、共和食品(株)、近畿容器(株)、(株)桑山、コタ(株)、コニシセイコー(株)、久御山工場、三光ライオンズクラブ、(株)サンビット、三洋テクノマリン(株)、三洋電機ボランティア推進委員会

JSA中核会岐阜支部、生長の家岩手県教化部白鳩会、積水ハウス不動産中部(株)、(社)泉南市社会福祉協議会、大成有楽不動産(株)、太陽誘電モバイルテクノロジー(株)、高千穂ライオンズクラブ、「小さな親切」運動愛媛県本部、「小さな親切」運動香川県支部、東京少年友の会、東京電線工業(株)那須工場、東洋熱工業(株)大阪支店、戸田建設(株)、豊田安全衛生マネジメント(株)、中津沖代ライオンズクラブ、ニッパツ・メック(株)、(財)日本動物愛護協会、ハート(株)、ハンドメイドLux、富士通Japan(株)、富士フイルムBI福井(株)、ホープ齒科クリニック、(株)ホンダカーズ三重南、松井電器産業(株)、三井住友信託銀行難波支店、(株)ミライト・テクノロジーズ緑の会、(社)六戸町社会福祉協議会、(株)リブドゥコーポレーション、(株)ロムテック、(社)輪島市社会福祉協議会、ワミレスコスメティックス(株)

**新入個人会員**

(12月16日～3月15日敬称略)

今村信大

**寄付協力者**

(12月16日～3月15日敬称略)

SMBCFアインナンスサービスクラス(株)、大熊泰江、ジャパン・カインドネス協会、(株)ジャパンビバレッジ、(株)乗馬クラブクレイン、幅田博樹、東くみ子、福田順子、森口修、渡邊公伸